

本研究に参加いただいた方で同意撤回をご希望される患者様へ

研究協力のおねがい

長崎大学分子生理学では「洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析」を行っています。この研究は、2017年から本学および下記の共同研究施設から集積を開始した洞不全症候群・心房細動患者様と、滋賀県で行われている健常人 (SESSA スタディ・高島スタディ) を対象とした研究です。

洞不全症候群の研究目的での血液検査や資料活用に関して、これまでご参加いただいた対象者様よりあらかじめ採血時に承認を戴いていますが、途中からご参加取りやめを希望される場合や、研究に関するご質問がある場合、他機関への資料・情報の提供の中止を希望される場合は、下記に問い合わせ先 8.へご連絡下さい。

1. 研究の概要

研究課題名：「洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析」

研究期間： 2017年12月26日～2020年3月31日

実施責任者： 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子生理学 教授 蒔田直昌

2. 研究目的

洞不全症候群は頻度の多い不整脈で、その発症には加齢などの様々な要因に加えて遺伝的な要因も強く関与すると知られています。本研究の目的は以下の2つです。

- (1) 洞不全症候群のリスク遺伝子を明らかにする
- (2) 個人の遺伝的リスクに基づいた洞不全症候群の適切な治療法・予防法を開発する

3. 研究方法：

血液・唾液などの生体サンプルはすべて個人情報を取り除き匿名化し、ゲノムDNAを抽出します。ゲノムDNAの一部は、東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター（田中敏博教授）に送られます。そこで、ゲノムワイド関連解析という方法で全ゲノムに存在する遺伝子多型を調べ、患者群と健常群で統計学に比較することで、関連する遺伝的領域を明らかにします。また、全ゲノムの塩基配列を調べることで、病気の原因やリスクとなる部位を特定します。

4. 共同研究施設

東京医科歯科大学・滋賀医科大学・国立循環器病研究センター・筑波大学・産業医科大学・日本医科大学・日本大学・岡山大学・広島大学・群馬大学・慶応大学・大阪大学・北海道大学

将来的に上記以外にも共同研究機関や商業的な外部機関が加わる可能性があります。この場合には、倫理審査委員会により、個人情報の取扱い、提供先の機関名、提供先における利用目的が妥当であると審査され承認が得られたもののみを加えます。

5. 予想される利益・不利益について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

6. 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

7. 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

8. 問い合わせ等の連絡先

この研究についてのご質問や、研究計画書を閲覧されたい場合は、下記の窓口まで お問い合わせ下さい。

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 分子生理学

教授 蒔田 直昌

電話: 095-819-7031

FAX: 095-819-7911

Email: nagasakiimp@gmail.com

Web: <https://cvmp.med.nagasaki-u.ac.jp/>